

# 令和8年度 杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園 学園経営方針

- I 令和8年度学園経営の最上位目標…●「3つのC」を体現する児童・生徒の実現 ●Diversity(多様性)を認め合う学園の実現
- II 令和8年度の重点とする目標…
- 1 不易流行の教育の推進 -小中一貫教育のよさを生かし、不易流行の資質・能力をバランスよく育む-
  - 2 児童・生徒の安全・安心の実現 -人権と多様性を尊重し、様々な課題の未然防止・早期対応に力を尽くす。-
  - 3 教職員の働き方改革の実現 -校務DXを推進し、児童・生徒の資質・能力を高める授業改善に還元する。-

## 教育目標「学園の3つのC」



## 豊かにかかわる

### 【CSアクションプラン(中期目標)】

- (1) 多様性を包摂し、人権尊重や思いやりの心を育てる教育
- (2) ICTや生成AIなどを利活用し、情報活用能力の向上を図る教育
- (3) 調整力・折衝力を高め、他と協働して問題解決する力を養う教育

### 【経営方針】

- (1) 杉並区いじめ防止対策推進条例や子どもの権利に関する条例などを踏まえたいじめ・暴力行為のない学園を目指し、道徳教育や人権教育を充実します
- (2) あいさつや感謝の表出を励行し、人とのつながりの中で自分が幸せであることを子どもたちに実感させていきます。
- (3) 特別支援教室や関係機関と連携した児童・生徒の理解や、特別支援学級との交流などを通じた特別支援教育を充実します。
- (4) 言語活動やタブレット端末を効果的に活用した学びを充実するとともに、ICTや生成AIを活用した授業についての研究を推進します
- (5) 情報モラルや情報リテラシーを向上させ、他者を尊重しながら自分の思いや考えを伝えたり、危険を回避したりする力を高めます。
- (6) 地域との交流により、地域に愛着と誇りを持てるようにします。



## 新たに創造する

### 【CSアクションプラン(中期目標)】

- (1) 民主的・平和的で持続可能な社会の創り手を育てる教育
- (2) 日本社会や地域に根差したウェルビーイングを向上させる教育
- (3) 主体的に社会に参画し、新しい価値を創造する力を育てる教育

### 【経営方針】

- (1) 新たな10年に向けて児童・生徒が主体的に提案した取組を充実します。
- (2) 集団や社会の形成者としての当事者意識を高め、自ら参画して問題解決を図ろうとする態度を育成します。
- (3) SDGsやグローバル化・高度情報化した社会を意識した教育を推進し、持続可能な社会の創り手となる人材を育成します。
- (4) 学校支援本部や地域と協働し、新しい活動を創造します。
- (5) 外部講師や地域人材を招いた授業や講演を実施し、子どもたちの好奇心を喚起するとともに、広い視野を養えるようにしていきます。
- (6) 教育DXを推進し、個別最適化された学びと協働的な学びを合わせたハイブリッドな学びを追求していきます。



## ひたむきに挑戦する

### 【CSアクションプラン(中期目標)】

- (1) 目標を持って自らの人生を舵取りしようとする態度を養う教育
- (2) 達成感や感動の享受を通して自己肯定感を高める教育
- (3) 失敗を恐れず挑戦し、失敗しても再び立ち上がる力を養う教育

### 【経営方針】

- (1) 授業や行事で、子どもたちが主体的に企画・運営する場面をできるだけ多く設け、子どもたちが達成感や満足感を感じられるようにしていきます。
- (2) 自らの個性を理解し、将来の夢や目標を見据えたキャリア教育を充実します。
- (3) 地域との協働などにより、児童・生徒、地域にとって価値ある教育活動を充実します
- (4) ICTを活用するなどして、個に応じたスモールステップによる学びを充実し、児童・生徒に達成感を享受させます
- (5) 互いの良さを認め合う雰囲気を醸成するとともに、組織的な教育相談体制を構築し、誰もが自分のペースで安心して挑戦できる素地を創ります。



## 教育環境・組織経営・働き方改革

### 【教育環境】

- 小中学部の学級数や学級人数の変更に伴い、教室配置を見直します。

### 【組織経営】

- 地域運営型学校として、学校運営協議会、学校支援本部、地域教育推進協議会と協働した経営及び教育活動等を進めます。
- 3Cの育成を目指し、教科横断のカリキュラム・マネジメントを進めます。
- Diversity(多様性)を尊重するカリキュラムを研究・編成します。
- 小中両学部の教員による異校種の乗り入れ指導を実施します。
- 主任教諭によるOJTを行い、若手教諭等の人材育成を計画的に進めます。
- 主幹教諭を中心に全教職員が組織的・協働的に学校運営に参画します。
- 児童・生徒の安全指導・安全管理を徹底します。
- 配当予算等の適切な執行と管理の下、事務の適正化に努めます。
- 危機管理(安全管理、情報管理、服務事故防止等)に取り組みます。

### 【働き方改革】

- 大規模校のメリットを生かした校務の役割分担の適正化を図ります。
- 授業時数と教育課程の適切な管理、行事の精選・実施方法の見直しを図ります。
- 校務DXを校内研究に位置付け、校務の合理化と教員の超過勤務削減を実現します。

